

青年部

表千家東京都青年部会報
SEINENBU DAYORI

だより



春光の茶会 (東京都・埼玉県青年部)

令和6年2月25日(日)新宿柿傳にて、東京都青年部と埼玉県青年部による合同茶会を開催いたしました。真冬のように寒く小雨が降る中、約200名の方にご参加いただきました。

東京席では、役員改選後初めての茶会に、役員一同心新たに進んでいきたい気持ちを表し、発会時に而妙斎宗匠より頂戴した扇面を軸装した「一華開五葉」を床に飾り、運びの道具組といたしました。お菓子は、今回



の茶会の趣向に合わせて清月堂本店様とご相談しながら詠えた、色鮮やかな練りきりに「春光る」という銘をつけました。また、1月に起きた能登半島地震において被害に遭われた方へのお見舞いの気持ちを込め、能登で被災された木漆作家の方の銘々皿を、事業で製作した銘々皿とともに使用いたしました。そして、お客様一人一人に楽しんでいただきたいという思いから、役員皆で持ち寄った春の芽吹きを季節をイメージしたお茶碗も用いました。その他にも事業で製作した出帛紗や練り香などを用いて、青年部活動の魅力をお客様へお伝えできたのではないかと思います。

埼玉席は、来年で発会20周年を迎える記念と桃の節句を掛け合わせたお祝の趣向とし、狭山のお抹茶と熊谷・かんだ和彩の早蕨と桜のお菓子で、春の訪れを存分に感じる席となりました。



埼玉席

令和5年度 東京都青年部総会

令和5年6月25日(日)、新宿柿傳安与ホールおよびオンライン配信にて、東京都青年部総会を開催いたしました。

総会前の呈茶席では、清月堂本店



総会記念講演要旨

表千家東京都青年部 部長 柴田夏実

令和5年度総会は、畠山記念館の学芸課長 水田至摩子先生に「畠山記念館とお茶のころ〜コレクション成立の背景と魅力」と題し、ご講演いただきました。

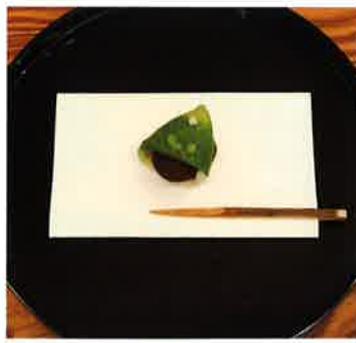
創設者であり、近代数寄者の畠山即翁（本名：一清 1881～1971）は、石川県金沢市に生まれ、東京帝国大学を卒業後、ポンプの開発を進め荏原製作所を創業した実業家でした。事業の傍ら、能楽と茶の湯を嗜み、晩年の益田鈍翁と親交を重ねていたようです。

昭和10年、荏原製作所が大規模なストライキに遭い、自宅に帰れない状況が続いている中、即翁は90歳近い鈍翁に招かれ、光悦の由緒あるお茶碗でもてなしを受け、玄関まで見送られた際、「お茶をやる精神で仕事をやりたまえ」と勇気づけられたというエピソードは、とても感銘を受けました。

そんな鈍翁と親交があった即翁の目を通して長年集められた茶道具をはじめとするコレクションの数々を、多くの人に楽しんでもらうことを目的として設立されたのが畠山記念館とのことです。

仕事とお茶などの文化的な世界は、どもすれば分けて考えてしまいがちですが、即翁や鈍翁の生き方を知り、自分自身のお茶のあり方を考える機会となりました。

水田先生には、大変ご多用な中ご講演いただきましたことを感謝いたしますとともに、この場を借りて御礼申し上げます。



様に艶やかな筆が印象的なお菓子「落とし文」をお願いし、お茶と共にお楽しみいただきました。総会では、事業報告・会計報告等に加えて第8期役員 の選任を行い、皆様に承認いただきました。総会後には、畠山記念館の学芸課長・水田至摩子先生のご講演を拝聴し、長らく青年部茶会の会場としてお世話になっていた畠山記念館の歴史や、畠山即翁の生い立ちや人となりを知るよい機会となりました。現在改装のため休館中の畠山記念館で

すが、この秋の再開館の折には、ぜひ皆様足をお運び頂ければと思います。ご講演いただきました水田先生、柿傳様、同門会の先生方、ご出席いただきました会員の皆様、関係各位に心より御礼申し上げます。

花籠づくり

令和5年8月6日(日)、板橋区立グリーンホールにて、花籠づくりを開催いたしました。今回も講師の池田瓢阿先生・泰輔先生をお招きし、久田宗全好みの掛花入「振々籠花入」を製作いたしました。竹を細く裂いた材を、芯となる少



し太い材にひと目ずつ編み込んでいきます。途中で編み方を変化させ美しい模様をつくることも教えていただきました。手の力の入れ加減で籠の太さや網目の模様の姿が変化するので、皆様、何度も網目をほどこき、気に入った形になるまでやり直し、こだわりの作品を作り上げていらっしゃいました。完成した花籠を、是非ともご自宅やお稽古場などでお楽しみいただければ幸いに存じます。

銀茶会

令和5年10月29日(日)、銀茶会が開催されました。今年のテーマは「楽(ラク)」。銀座三越での学生創作茶席にて約180名の幅広い世代のお客様にお茶をふるまい、秋のひと時をお楽しみいただきました。また、会場を通りかかった多くの方が足を止め、茶席の雰囲気を楽しんでいただきました。





茶碗づくり

令和5年11月12日(日)、名古屋
市八事窯にて、中村道年先生ご指導
のもと、築窯百年を迎えた記念に改
築されたお茶室と工房にて、茶碗づ
くり体験を開催いたしました。

はじめに、イグサの香
りが漂う真新しいお茶室
にて歴代および当代が作
陶された様々なお茶碗で
薄茶をいただきました。
その後、工房にて1キロの
土の塊から手捏ねでお茶
碗の原型を作り乾燥さ
せ、およそ半分の重さに
なるまでお茶碗の内外を
ヘラで削り出しました。全
員同じ土の塊から始まっ
た作業でしたが、削り出
しが終わる頃には各々個
性あふれる形になってお
り、同じ形のものがないと
してない手作りの奥深
さを感じました。
作陶の合間には歴代の
作品や窯なども拝見し、
終始とても和やかな雰
気の中で築茶碗に対する
見識を深める一日となり
ました。

練り香づくり

令和5年12
月2日(土)、
香老舗松榮
堂人形町店に
て練香づくり
を開催し、約
40名の方に参加いただきました。



はじめに講師の柴木先生より、お
香の歴史や世界における原料の産
地、梅ヶ香の調合方法についてご講義
いただきました。その後、作りたい香
りをイメージしながら各々に調合し、
炭と蜜とで練り上げました。練る作
業は想像以上に力のいる作業で驚き
ながらも、お互いに香りを聞き合い、
楽しみながら取り組まれていました。
練香の作り方だけでなく、『源氏
物語』での香りの描写が多いことにつ
いてもお話しいただき、茶道を楽しむ
視点がまた一つ深まりました。



青年部事務局よりご案内

●入会申込書の取り寄せについて

入会申込書の取り寄せをご希望の場合は、必要事項[会員の方は会員番号、氏名、送付先住所、必要部数]を記載のうえ、青年部メールアドレスまでご連絡ください。

●入会手続きについて

入会申込書に本人自筆で必要事項を記入後、推薦者自筆にてご署名のうえご郵送ください。※表千家に入門されている方であれば、同門会会員の推薦によりどなたでもご入会いただけます。

●住所・氏名変更届について

必要事項[会員番号、氏名、変更内容(旧住所と新住所/旧氏名と新氏名)、電話番号]を記載のうえ、青年部メールアドレスまでご連絡ください。

●退会届について

必要事項[会員番号、氏名、退会時点の登録ご登録住所、電話番号、退会理由(任意)]を記載のうえ、青年部メールアドレスまでご連絡ください。

●入会申込書は郵送のみの受付となりますが、その他のご連絡についてはメールでの受付をしております。メールアドレスをお持ちでない方は、ハガキか封書等に必要事項をご記入のうえ下記住所までご郵送ください。

●同門会と青年部は別組織となり、会員番号も異なっております。入退会・各種変更の際は、それぞれへお手続きくださいますよう、お願いいたします。

●青年部事務局には役員は常駐しておりません。各種届け出につきましては、返信までお時間をいただく場合もございますのでご了承ください。

青年部では、令和6年度に 次のような事業を企画しています

1 令和6年度総会 6月30日(日) 参加者募集

2 出帛紗づくり 8月25日(日) 参加者募集

3 交趾焼絵付け体験 9月23日(月・祝) 参加者募集

4 銀茶会 10月27日(日)

5 青年部茶会 12月8日(日)

6 懐石料理教室 令和7年2月ごろ開催予定

事業応募に関するお願い

- 各事業は、各講師・会場の皆様と青年部の信頼関係を基に成り立っております。事業をご応募後に、やむを得ず都合が悪くなった場合には、各事業の問い合わせ先又は青年部事務局に速やかにご連絡ください。
- 一度ご入金いただきました参加費は、全額返金できない場合がございますのであらかじめご了承ください。

〈各種届け出の連絡先〉

青年部メールアドレス: omotetokyoseinenbu@gmail.com

郵送先: 〒160-0022 東京都新宿区新宿3丁目7-11安与ビル4階 表千家同門会東京支部内 表千家東京都青年部宛

表千家東京都青年部からのお知らせ

令和6年度総会案内詳細

今年度の総会は、昨年同様会場での開催と共にオンラインでの配信を予定しております。

記念講演では、鈴木時代裂研究所の所長である鈴木一弘氏をお招きし、名物裂についてご講演いただきます。金襴、緞子、問道の違いとは?? 聞けば納得のお話が伺える、貴重な機会です。なお、6月25日(火)から総会当日までの間、地下2階の柿傳ギャラリーにて鈴木氏の作品が展示されています。併せてご覧いただければと存じます。

同伴の方も2名までご参加可能です。是非ともお誘い合わせの上、お越しください。

(会場同伴の方は、必ず会員様とご一緒にお越し下さい。)



日時/令和6年6月30日(日)

- 11:00~12:30 受付・呈茶(6F 古今サロン)
- 13:00~13:20 第一部 総会(7F 安与ホール)
- 13:30~15:00 第二部 記念講演(7F 安与ホール)

場所/柿傳7階 安与ホール またはオンライン配信にて

東京都新宿区新宿 3-37-11
(JR新宿駅/中央東口・東南口徒歩1分)
<https://www.yasuyo-hall.com/>
※オンライン配信視聴の為にURLは申込み時にご記入頂きましたメールアドレスへ後日送付いたします。

参加費/①会場でのご参加

- 会員: 無料
- 同伴者(2名まで): 1名につき1,000円(呈茶代含む)
- ※申込多数の場合は抽選となります

②オンラインでのご参加: 会員、同伴者ともに無料

申込方法/ Google フォームにて

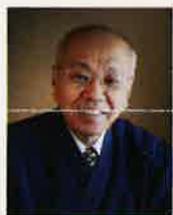
- ◇Google フォーム
URL: <https://forms.gle/b6L4DEpJxJ2LLoGu8>
- ◇お手伝いスタッフも募集しております。(会員のみ)



締切/令和6年5月31日(金)

お問合せ/ ots.soukai@gmail.com

記念講演/ 講師: 鈴木時代裂研究所 所長
鈴木一弘(すずき かずひろ) 氏
演題/ 名物裂について



[プロフィール] 今から400年前に渡来し、茶道の世界と深い関わりのある名物裂・古渡更紗などの染織品を3代にわたり蒐集・研究・復原をする鈴木時代裂研究所で、現在所長を務める。

昭和25年、京都市中京区生まれ。平成18年、『名物裂事典』発刊に編集長として参画する。日本橋三越本店、柿傳ギャラリーなどにて個展を多数開催。

昨年9月まで『茶道雑誌』(河原書店刊)にて「名物裂を緋(ひもと)く」を8回にわたり連載する。

袋物づくり(出帛紗)

全国和裁技術コンクールにて一位、内閣総理大臣賞を受賞された山本秀司先生をお招きし、出帛紗を製作いたします。優美な裂地が、ご自身の一針一針によって出帛紗へと生まれ変わる楽しさをぜひ体験してください。



講師 和裁師・袋師 山本秀司先生

日程 令和6年8月25日(日) 午前の部 9:45~12:45
午後の部 14:00~17:00

場所 きゅりあん(JR大井町駅より徒歩2分)

定員 各回25名(同伴者は青年部会員以外も可)

参加費 青年部会員 15,000円/同伴者(1名まで) 16,500円

申込 Google フォーム、またはハガキにて

締切 令和6年7月7日(日) ※ハガキの場合は必着

Google フォーム <https://forms.gle/s6Tiwutuc7yBhSNRR6>

交趾焼絵付け体験

京都の中村翠嵐工房にて、中村正史先生ご指導のもと、交趾焼絵付け体験を開催いたします。

真っ白なお茶碗が色鮮やかに生まれ変わる過程を体験し、交趾焼への理解を深めていただける機会になればと思います。短い時間ではありますが、皆様の友好・親睦を深める旅になることを願っております。



講師 中村正史先生

日程 令和6年9月23日(月・祝)

場所 中村翠嵐工房(京都市山科区)、「半兵衛鼓本店」にて昼食予定
※当日は、京都市内集合および解散となります。
(10:00-17:00 ごろ目安)

定員 20名(青年部会員)

参加費 27,000円(昼食代・現地移動費含む)

申込 Google フォーム、またはハガキにて

締切 令和6年7月23日(火) ※ハガキの場合は必着

Google フォーム <https://forms.gle/WiUx7SPTNeycpT1v9>

■お問合せ

表千家東京都青年部 袋物づくり/交趾焼絵付け体験 担当

〒160-0022 東京都新宿区新宿 3-37-11 安与ビル4階

E-mail: seinenbujigyo@gmail.com

ハガキでの事業申し込み方法

必要事項をご記入の上、締切日までに事務局へご郵送ください。応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。



こちらの面に

- ・会員番号
- ・氏名
- ・メールアドレス
- ・電話番号
- ・その他 記入事項

編集後記

コロナ禍を経て、今までと同じようにまた茶室に集えるようになりました。昨年は第2回青年部研修会が京都にて開催され、全国の青年部会員が一堂に会しました。素敵なお茶の文化と一緒に楽しめる仲間と繋がっていることの嬉しさを感じるとともに、東京都青年部をより一層盛り立てていきたいと心新たにいたしました。今後とも総会や事業への皆様のますますのご参加を心よりお待ちしております。



「茶の湯 ころろと美」 <https://www.omotesenke.jp/>

「表千家からのご案内」[稽古場案内] <https://www.omotesenke.info/>

「北山会館からのお知らせ」 <https://www.kitayamakaikan.jp/>

表千家東京都青年部 事務局

〒160-0022 東京都新宿区新宿3丁目37番11号 安与ビル4階 表千家同門会 東京支部内 TEL 03-3356-3902 omotetokyoseinenbu@gmail.com